しあわせ

Happiness

vol.513
2015年7月

労福協「一般社団法人 第2回定時総会」開催

野田市生活困窮者自立相談支援事業開始

大賀ハス（千葉公園）

●ひとりで悩んでいませんか？　くらし何でも無料相談
ちばライフサポートセンター
0120-53-4141

一般社団法人 千葉県労働者福祉協議会
第2回定時総会 開催！

去る5月21日（木）13時30分から、一般社団法人となり「第2回定時総会」を全労済千葉県本部会議室において開催しました。

第2回総会は、細根副会長の開会挨拶に始まり、資格審査報告、そして議長選出を行い、議長には、連合千葉「滝本」氏を選出しました。滝本議長は、就任挨拶で「公助の充実が遅々として進まないことに加え、現政権の政策によりますます格差が拡大し、弱者の自助が一層困難を極める中、共助となる労福協が果すべき役割とその重要性はますます高まっている。」との労福協への期待を込めた就任挨拶がされました。会長挨拶では黒河会長から、結成50周年、初の自治体事業受託等の2014年度と、戦後70年を迎える2015年度の位置づけに触れられ、「労働者福祉活動の中心にあるのは『労働者のための、労働者による』という理念。大事なことは自らが行動の主体であるという『労働者による』と言うこと。『連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会』の実現に向け、労働組合と福祉事業団体の結節点として本年も精一杯頑張っていきます。」との挨拶がされた。その後、ご来賓の連合千葉林田事務局長、千葉県商工労働部神子次長からご挨拶を頂くとともに、千葉県商工労働部雇用労働課、千葉市経済企画課のご来賓及び千葉県労福協岡田顧問が紹介されました。

黒河会長

議事に入り、この1年間の事業報告と予算執行状況について小柳常務理事より、監査報告を富田監事から報告があり、続けて、2015年度事業計画（案）、予算（案）を小柳常務理事より、2015～2016年度役員選出について、役員推薦委員会報告を受けた後に丸山副会長より提案がされました。決議は、議決権を有する会員の挙手で行い、その後参加者全員による拍手で確認する方法で行い全て承認可決されました。役員選出後、総会を一時休会し臨時理事会が開催され、黒河会長、日高・細根・丸山の各副会長、小柳常務理事を選出し「2015～2016年度役員体制」が決定されました。総会再開後、黒河新会長より役員体制の報告がされ、満場の拍手で確認されました。その後、退任された三上理事（連合千葉・基幹労連）、金子監事（連合千葉・電機連合）、富田監事（全労済）の退任挨拶後、新役員全員が自己紹介し、黒河新会長が新役員を代表し挨拶されました。全ての議事終了により書記及び議長解任、そして日高副会長の閉会挨拶で第2回定時総会が無事終了しました。

黒河会長あいさつ

2014年度は労福協が結成されて50年、そして一般社団法人に移行して活動する最初の年でしたが、会員をはじめ当協議会に関係する皆さんの協力・支援により新たな一歩を踏み出すことができました。心より御礼申し上げます。

詳細は常務による活動報告に譲りますが、この1年結成50年の記念行事をはじめ、「労働者自主福祉活動」への理解促進やライフサポートセンター事業、勤労者を対象とした文化・体育活動、地区労福協や関連するNPO団体との協力、震災復興・再生支援など様々な活動を継続して進めて参りましたが、中でも、結成以来初めてとなる野田市からの「生活困窮者自立促進支援モデル事業」の受託は、現地相談支援員の皆さんの懸命な努力に支えられ評価をいただき、貧困・格差問題に取り組んできた私たちにとって大きな励みとなりました。

さて、日本経済は「円安、株高」による景気回復の兆しが見えるとされていますが、勤労者を取り巻く環境の厳しさは変わりありません。とりわけ「貧困と格差」は未だ克服されず、むしろ一層深刻になっていると言っても過言ではありません。これは、数字に如実に表れています。雇用が100万人増えたと言っても、正規は20万人減り、非正規は120万人増え、結果非正規は昨年末2000万人を超えましたし、年収200万円以下の人も1100万人を突破、生活保護者も200万以上と高止まりの状態です。

このような状況を踏まえ、以下のように本年の労福協活動を進めて参ります。

昨年は労福協結成50年という節目の年でしたが、今年は戦後70年。戦後日本の復興、加えて民主主義の発展・勤労者の生活と地位向上に大きな力を果たしたのが労働組合であり労働者福祉事業団体でした。賃金引き上げは勿論のこと食糧危機と生活物資の不足が深刻化する中、分立していた労働団体、産別組織、生協が集まったのが「労福協」の始まりです。その後、お金を貸してくれない銀行に対して労働金庫が、助け合いのために火災共済から全労済が、と労働者福祉事業団体を次々と設立し、活動範囲を拡大して参りました。この労働者福祉活動の中心にあるのは「労働者のための、労働者による」という理念ですが、とりわけ大事なことは自らが行動の主体であるという「労働者による」と言うことです。

この間中央労福協は、「労働団体・事業団体連携行動委員会」を設置し取り組みを進めてきましたが、そのスローガンは「利用促進と共助拡大」です。これを合い言葉とした運動・活動の展開を、戦後70年である本年、改めて実践して参りたいと思います。例えて言えば労金や労済が金融や保険の業界から脅威に思われるような社会的位置を獲得することは、まさに勤労者を守り期待に応えることに他なりません。もう一度福祉事業団体を私たちの財産として取り組みを進めて行こうではありませんか。私たちが掲げる「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」は、そんな中から実現されていくことでしょう。

労働組合と福祉事業団体の結節点として労福協は本年も精一杯頑張っていくことをお誓いして、総会の挨拶とします。

就任挨拶
滝本議長（連合千葉）

開会挨拶
細根副会長

来賓挨拶
連合千葉　林田事務局長

来賓挨拶
千葉県　神子次長

監査報告
富田監事

提案
小柳常務理事

閉会挨拶
日高副会長

役員選出
丸山副会長

退任役員挨拶
金子前理事　富田前監事　三上前理事

新役員代表挨拶
黒河新会長

NPO法人子育て支援グループ　ハミングちば

第14回 総会

5月31日（日）、イタリアンレストラン「ガンツォ」（千葉市中央区）において、NPO法人子育て支援グループ「ハミングちば」の第14回総会が会員16名（委任状9名）の出席のもとに開催されました。

総会の開催にあたり小柳理事長より、ハミングちばの成り立ちが紹介され、「この一年間、〝今後の活動のあり方〟を受けての事業方針・事業計画に基づき事業を展開してきました。ハミングちばが置かれている状況等は、近年の延長線上にあり課題も継続しています。改めて、原点に立ち返り、今日の状況課題を整理し、今後の方向性等を含め検討をしていかなければなりません。」との挨拶がされました。

総会後の交流会

その後、来賓として千葉県労働者福祉協議会黒河会長、連合千葉鈴木会長より連帯と激励の挨拶を頂きました。

小柳理事長

審議事項では、2014年度事業報告・収支決算報告・監査報告が承認され、引き続き2015年度事業計画・収支予算・役員及び報酬に関する件が満場一致で承認されました。

その後、総会を一時中断し理事会が開催され、総会再開後、理事会で小柳理事長、伊藤副理事長、福原事務局長が選任された旨の報告があり満場の拍手で確認されました。

本総会で、永年ご尽力を頂きました辻徳次郎さん（前監事）が退任され、新たに理事に加賀谷ゆかりさん、監事に齋藤政洋さんが就任されました。退任された辻さんに心より感謝し、そして、新たに就任された加賀谷さん・齋藤さんをはじめ役員全員で一丸となって取り組んでいく決意のもとに総会が終了しました。

この13年間、支えて頂きました個人・団体賛助会員の皆様に、しあわせの誌面をお借りし感謝申し上げますとともに、これからもハミングの仲間として、ともに歩みお支え頂きますようお願い申し上げます。

2015年度役員

理事長	小柳　光廣
副理事長	伊藤　豊子
事務局長	福原　正子
理　事	楢原　恵美子
理　事	山科　眞純
理　事	吉川　洋子
理　事	上斗米　久枝
理　事	加賀谷ゆかり
監　事	小松　正
監　事	齋藤　政洋

野田市パーソナルサポートセンター

生活困窮者自立相談支援事業スタートする!!

生活困窮者自立支援法の施行に伴い2015年4月1日より生活困窮者自立支援制度が全国の福祉事務所が設置されている自治体でスタートしました。生活全般にわたる困りごとの相談窓口が設置され、相談窓口では、働きたくても働けない、住む所がない、などの相談を受け付け、一人ひとりの状況に合わせた支援プランを作成し、専門の支援員が相談者に寄り添いながら、他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を行います。

千葉県労働者福祉協議会では、昨年7月より今年3月まで生活困窮者自立促進支援モデル事業を野田市より受託し、野田市パーソナルサポートセンターとしてモデル事業を実施してきましたが、この4月1日からは生活困窮者自立支援制度の本格実施に伴い野田市より生活困窮者自立相談支援事業を受託し事業を開始しています。

事業内容は、「自立相談支援事業」、「住居確保給付金に係る受付等業務」、学習支援の「ステップアップセミナー事業に係る受付等業務」です。

野田市パーソナルサポートセンターは主任相談支援員1名、相談支援員1名、就労支援員2名（非常勤）で常時3名の体制で、平日の9時から17時の受付時間で事業を推進しています。

支援員が生活に困りごとや不安を抱えている相談者のご相談を受けて、どのような支援が必要かを相談者と一緒に考え、具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら自立に向けた支援を行っています。事務所での相談支援、アウトリーチ（訪問支援）や同行支援等を相談者の気持ちに添って行っています。また、野田市生活支援課のご指導や、中核地域生活支援センターをはじめとします関係機関との連携やご協力により支援が進められています。

相談内容は、複合的で深刻な内容が多く、相談者や継続支援者は増加を続けていますが、専従スタッフの皆さんが懸命な努力で取り組んでいます。

千葉県労働者福祉協議会では、これからも野田市パーソナルサポートセンターへの相談業務応援や定期報告等の入力支援、緊急食糧支援等を行い、本事業の目的達成に向け専従スタッフと一体となって事業を推進していきます。皆さまの一層のご支援ご協力をお願いいたします。

第86回 千葉県中央メーデー開催！

スローガン

「平和を守り、雇用を立て直す みんなの安心のため、さらなる一歩を踏み出そう！」

サブスローガン

「雇用と生活再建の具体化で 東日本大震災からの早期復興・再生を！」

2015年4月29日（水）千葉ポートパーク円形広場において、約6，500人の参加のもと、第86回千葉県中央メーデーを開催しました。

本メーデーの基本的な考え方は、①非正規を含めすべての働く仲間が結集し、働くことを軸とする安心社会の実現に向けて、「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」キャンペーンの運動を広げる。②すべての働く者の生活が、戦後70年続く平和の上に成り立っていることを改めて強調し、今後の平和運動を推進していくための意識づけをはかる。③NGO・NPOをはじめとする諸団体とのつながりや共感を通じ、相互の運動に対する理解を深めるとともに、今後の取り組みに向けてさらに連携を強化するための契機とする。④被災地の復興・支援に引き続き取り組む。これら4点を確認し合うメーデーとしました。

鈴木実行委員長（連合千葉）

式典は、鈴木光実行委員長の挨拶に続き、千葉県知事代理、熊谷千葉市長をはじめ、民主党・社民党代表の挨拶を頂戴し、行政関係、友好政党、連合千葉議員団、福祉団体等、参加頂いた来賓紹介の後、連合千葉女性委員会谷井委員長の提案によるメーデー宣言ならびに、五十嵐副実行委員長の提案による「特別決議」が満場の拍手により採択され、最後に鈴木実行委員長のガンバロー三唱で式典が締めくくられました。

恒例の模擬店は、構成組織はじめ、NPOや福祉団体とも連携し、19組織29店舗の出店があり、それぞれの団体が創意工夫を凝らした内容で実施しました。また、特別ブースとして、千葉県内の被災地復興支援として、香取市職と神崎町職労の皆さんに協力を頂き、特産品の販売、パネル展示や観光も含めたPRを実施しました。さらに、戦後70周年を迎える今年の企画として、千葉県内での戦争による被害の実態を知ってもらうため、「千葉空襲」のパネル展示を行いました。

千花夏風（沖縄エイサー）

恒例の「ふぁーふぁー」（労福協）

祭典では、千葉ロッテマリーンズキャラクターのズーちゃんとMスプラッシュによるダンス&トークショー、「千花夏風（センカナツカチ）」によるエイサー演奏、チャリティー大抽選会と大盛況で、広場では毎年好評のミニスカイライナー乗車体験と乗馬体験、ファーファー遊園地等、家族みんなで楽しめるとともに、全ての働く者の連帯を確認しあう大変有意義なメーデーとなりました。

今回、ネパール地震の緊急支援活動として、チャリティー抽選券の売上金の一部を「ネパール大地震　緊急支援カンパ」として送りました。

連合千葉

2015年度 政策討論集会を開催！

2015年5月30日（土）10時30分より、千葉県教育会館において、81名の参加のもと、連合千葉「2015年度　政策討論集会」を開催しました。

挨拶に立つ鈴木会長

千葉日報社　今井慎也 氏

連合千葉政策委員会の椎名委員長、連合千葉鈴木会長の挨拶に続き、千葉日報社・編集局政経部、今井慎也氏による「千葉県の現状・課題と2015年度予算について」の講演と政策担当からの「2016～2017年度　政策・制度要求と提言」（案）の説明を受けました。その後、昼食をはさみ、3つの分科会（①経済産業、②雇用の安定・創出、③生活の安心・安定）に分かれて、「2016～2017年度　政策・制度要求と提言」（案）に対しての意見を出し合いました。この討論集会で頂戴した意見を基に、千葉県への提言を7月に提出していく予定です。ご協力ありがとうございました。

流山おおたかの森ローンセンター

〈ろうきん〉は、はたらく仲間がお互いを助け合うために資金を出し合ってつくった協同組織の金融機関です。全国に13の〈ろうきん〉があり、〈中央ろうきん〉は1都7県を営業エリアにしています。企業への融資が中心の銀行とは異なり、お預かりした資金は住宅教育、マイカーなど個人の方向けへの融資が99%を占めています〈ろうきん〉は福祉金融機関の視点からはたらく皆様の生活防衛、生活設計、生活改善を支援するために、様々な商品提供を行っております。

今般、千葉地区における勤労者の皆様へのサービス・利便性向上を図るために流山おおたかの森ローンセンターを新設することとなりました。

このネットワークをフル活用することで、相談機能が拡充され、より一層皆様方にお役に立てるものと存じます。新店舗では当金庫のスローガンである「『あんしん創造バンク』～働く人のベスト金融アドバイザーとして～」をお客様に感じて頂けるよう、来店しやすく、安心して相談のできる空間を提供させていただくために工夫を凝らし、快適で機能的な店舗を目指します。

同ローンセンターは土、日も営業を行い皆様からのご相談に対応してまいりますので、ぜひともご利用ください。

千葉県流山市西初石6丁目832番地
こもれびテラス1階101号
TEL(04)7199-9821

全労済

「～団体生命共済を活用した組織内福利厚生充実に向けて～」セミナーを開催する!!

全労済が実施している団体生命共済は、1965年に「組合員相互のたすけあいをかたちにした保障」としてスタートし、本年10月1日に事業開始50年の節目を迎えます。また、組合員にとってさらに魅力のある共済となるよう2014年8月には制度改定・掛金改定を行いました。

2015年3月末現在、全労済千葉県本部では労働組合の支えのもと、利用状況は103，481件・7，328，551口となっています。

全労済千葉県本部では、団体生命共済を組合員の万一のときの一助となる「組合員同士（仲間）でつくる救済制度」として広く利用してもらうことを目指し、2015年5月28日に「～団体生命共済を活用した組織内福利厚生充実に向けて～」と題したセミナーを開催しました。

当日は、県下の労働組合役員をはじめとし42団体59名の参加がありました。講師には、株式会社FPユニオンLaboの宮越肇氏、飯村久美氏を迎え、①FPから見た団体生命のメリットとは？②組合員の福利厚生充実に向けて、をテーマとして講演いただきました。特に、全労済が必要最低限の保障としている団体生命共済50口（遺族保障500万円）について、「なぜ50口（遺族保障500万円）なのか」という点を社会保障制度の実態に則してお話をいただきました。

また、「団体生命共済一律加入制度導入団体インタビュー」として、すでに団体生命共済一律加入制度を導入している労働組合2団体の書記長にパネラーとして一律加入制度実施に至るまでの経過や思いといった体験談をお話いただきました。あわせて、参加者も含めた、忌憚のない意見交換を行う中で、団体生命共済一律加入制度導入についてのイメージを全体共有しました。

本セミナーを通じて、各労働組合に福利厚生の一環として団体生命共済を活用する意義についてあらためて検討いただき、団体生命共済が「組合員相互のたすけあいをかたちにした保障」として一人でも多くの組合員のお役に立てれば幸いです。

中央労福協 「2015年全国研究集会」開催される！

講演Ⅰ：立命館大学 高橋教授

講演Ⅱ：NPO法人さいたまユースサポートネット　青砥代表

講演Ⅲ：中京大学 大内教授

2015年6月4日（木）14時から5日（金）12時にかけ、愛知県春日井市「ホテルプラザ勝川」において労働者福祉中央協議会（中央労福協）の「2015年全国研究集会」が、事業団体、労働組合、地方労福協から約200名が参加し開催されました。

千葉県労福協では、中央労福協「全国研究集会」を事業計画の「労働者福祉に関わる調査・研究の取り組み」に位置づけ、構成団体を含め参加していくこととしています。今回は、連合千葉1名、全労済千葉県本部1名、千葉県労福協1名の3名が参加し、千葉県労福協黒河会長は中央労福協の副会長として参加しました。

本研究集会は「持続可能な社会と若者の未来」をメインテーマとして、3本の講演とパネルディスカッションで構成されています。初日は、講演Ⅰ「アベノミクスからの転換と持続可能な社会への展望」（講師：立命館大学国際関係学部　高橋伸彰 教授）、講演Ⅱ「地域社会から子ども・若者の貧困を考える」（講師：NPO法人さいたまユースサポートネット　青砥　恭　代表）が行われました。翌日は、講演Ⅲ「貧困ビジネスと化した〝奨学金〟苦悩する若者たち」（講師：中京大学国際教養学部教授・奨学金問題対策全国会議共同代表　大内裕和氏）から入り、パネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションでは、パネラーに大内中京大学教授、村上連合非正規労働センター総合局長、高校教師の富崎先生を迎え、コーディネーターの山本副会長の進行で、「深刻化する雇用劣化と〝奨学金〟問題の改善に向けて　～このままでは中間層解体・人口減に！〝世代間断層〟を超えて、どう立ち向かうのか～」をテーマに進められました。

その後、中央労福協第6回幹事会で確認された「〝奨学金〟問題に対する取り組み」が大塚事務局長より報告がされ、黒河副会長の閉会の挨拶で二日間の全国研究集会は終了しました。

今回の研究集会では、貧困・格差、貧困の連鎖等の社会的課題やその背景、子ども・若者の貧困、そして「奨学金」の問題と中央労福協の今後の取り組み等、多くを学び共有化できる二日間であり、有意義な研究集会となりました。

労働者福祉東部ブロック協議会
第202回 幹事会

5月15日（金）14時から静岡県勤労者総合会館において労働者福祉東部ブロック協議会第202回幹事会が開催されました。労働者福祉東部ブロック協議会は1都10県の地方労福協で構成され、総会、幹事会、代表者会議、事業団体責任者会議、福祉リーダー塾、ライフサポート事業の経験交流、役職員研修等を行っています。

第202回幹事会は、黒河会長挨拶に始まり、中央労福協挨拶・報告を受け、小松事務局長による事務局報告、検討委員会報告、各都県労福協活動報告、そして協議事項に入り、各種具体的活動を協議し決定しました。今回は、特に代表者会議及び事業団体責任者会議におけるテーマについて活発な議論を行い方向性が決定されました。

［当面の予定］

- **2015年度代表者会議・第203回幹事会合同会議**
  7月9日（木）千葉市
- **2015年度事業団体代表者会議**
  8月20日（木）～21日（金）栃木県
- **第9期福祉リーダー塾**
  前期：6月26日（金）～27日（土）三島市
  後期：9月4日（金）～5日（土）三島市
  フォローアップ研修・修了式
  10月16日（金）東京都
- **ライフサポート事業経験交流**
  8月7日（金）～8日（土）長野市

ネットワーク団体活動のご紹介

千葉県労福協は、地域創造ネットちば、協同労働の協同組合ネットワークちば、フードバンクちば、消費者行政充実ネットちば、貧困問題を考える懇談会やひと・くらしサポートネットちば他に参加し、市民との協同や幅広いネットワークで社会的課題に取り組んでいます。

この間の主な取り組みについて紹介・報告します。

「フードバンクちば3周年記念イベント」開催する！

6月7日（日）に千葉大学西千葉キャンパスにおいて、「千葉に広がるフードバンク活動」と題してフードバンクちば3周年記念イベントが開催されました。第1部では「フードバンクちば年間活動報告」、第2部ではシンポジウム「フードバンクちばの現在」、第3部では「意見交換・交流会」としてフードバンク食品を活用した料理の試食、フードバンクイズ等が行われました。

シンポジウム

コメント：千葉大学 伊丹さん

杉本理事長挨拶

交流会

開会にあたり、ワーカーズコープちば杉本理事長より、歩みや課題を含めた挨拶がされ、第1部では、フードバンクちば責任者の菊地謙さんよりこの一年間の活動が報告されました。第2部のシンポジウムでは、企業、母子生活支援施設、社会福祉協議会や総合相談と自立相談支援事業に取り組んでいる社会福祉法人の皆様にパネラーとして参加頂き、フードバンクちばとの連携をはじめ、それぞれの取り組み報告がされました。千葉大学伊丹さんよりコメントを頂きシンポジウムを終了し、第3部では、和やかに意見交換と交流が進められました。

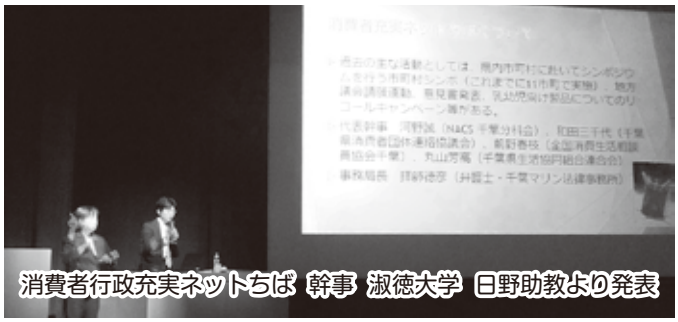
フードバンクの取り組みは、年々、連携の輪が広がり充実してきています。千葉県労福協は、フードバンクの研究会から参画し、設立から今日まで支援団体として取り組んできました。この間、「フードドライブ」を始め多くの取り組みに連合千葉や多くの労働組合、地区労福協の皆さんにご支援頂いております。また、野田地区労福協では、フードドライブへの協力を準備しています。引き続き、一緒になって取り組んでいきますので一層のご支援ご協力をお願いします。

「平成27年度消費者フォーラムin千葉」開催される！

5月29日(金)千葉市文化センターにおいて、「消費者フォーラムin千葉」が千葉県と消費者フォーラムin千葉実行委員会の主催で「地球との調和をめざす地域づくりを！」テーマに開催されました。実行委員会は、消費者団体千葉県連絡会、千葉県生活協同組合連合会、消費者行政充実ネットちば等、19の団体で構成され、準備と実行にあたってきました。千葉県労福協は「消費者行政充実ネットちば」の一員として参加しました。

主催者挨拶：千葉県 環境生活部 戸部担当部長

開会にあたり主催者として千葉県環境生活部戸部担当部長、小田川実行委員長から挨拶があり、第1


消費者行政充実ネットちば 幹事 淑徳大学 日野助教より発表

基調講演：
千葉大学 倉阪教授

主催者挨拶：
小田川実行委員長

パネル展示

コントdeげき隊

部基調講演では「再生可能エネルギーを育てる地域社会を目指して」の演題で倉阪千葉大学教授より講演を頂きました。第2部「平成26年度県民提案事業の事例発表」では、「特定非営利活動団体いちかわ市民文化ネットワーク」の消費者啓発〝出前劇団〟「コントdeげき隊！」の皆様による「消費者啓発コント劇団公演事業」が発表され、続いて「消費者行政充実ネットちば」から「高齢者向けリコール製品回収事業」について幹事の日野淑徳大学助教より発表されました。また、会場ロビーでは各団体の活動をパネル展示で紹介がされ、相互の取り組みをより一層理解・共有する機会ともなりました。本フォーラムをとおし県民生活の向上が進むことが期待されます。

野田地区労福協 第2回幹事会で 第10回フードドライブの取り組みを決定!!

6月11日（木）18時よりキッコーマン労働会館において野田地区労福協第2回幹事会が開催されました。芝崎会長の挨拶に始まり、染谷事務局長より4月25日に開催された野田地区労福協第27回将棋大会及び5月21日の千葉県労福協第2回定時総会が報告されました。協議事項では、第13回チャリティボウリング大会（8月19日）、家族交流チャリティバスツアー（11月8日）、フードドライブの取り組み等が協議されました。

野田地区労福協では、昨年12月の第43回総会で「フードバンクの取り組みを検討していく。」という活動方針を決定し、この間、「フードバンクちば」の協力団体である千葉県労福協とともに「フードバンクちば」の訪問や検討が進められてきました。そうした経過のもとに幹事会においては、オブザーバー参加した千葉県労福協小柳常務理事より、フードバンクちばの活動とフードドライブについて説明がされ、それを受けて今回の第10回フードドライブの取り組みが確認されました。

〈中央ろうきん〉カーライフローン

●最高1,000万円 ●最長10年 ●無担保

団体会員の方限定

NEWS! 金利引下げ制度〈ずっとサポート引下げ〉スタート!

変動金利型

◇団体会員の場合 年1.700%
※別途保証料 年0.7%が上記金利に上乗せとなります。

◇団体会員以外の場合 年2.475%
※別途保証料 年1.2%が上記金利に上乗せとなります。

団体会員限定〈ずっとサポート引下げ〉 引下げ要件を満たしている場合、上記表示の金利より さらに 年 0.1 % 金利引下げ

引下げ要件(右記の1・2のいずれか) 1 財形貯蓄またはエース預金のご契約*1 2 有担保または無担保ローンのご契約*2

*1:カーライフローン申込時点(仮審査申込を含む)で「契約日から1年以上経過」かつ「残高12万円以上」ご契約がある方。
*2:カーライフローン申込時点(仮審査申込を含む)で〈中央ろうきん〉の有担保ローンまたは無担保ローン(マイプランを除く)をご返済中の方。
※引下げ要件1・2ともに満たしている場合でも、金利引下げ幅は年0.1%となります。※詳しくは〈中央ろうきん〉営業店までお問い合わせください。

マイカーに関するあらゆる資金に! 新車 中古車 保険 修理 車庫建設 他金融機関等の自動車ローン借換

クルマ以外にも・・・●バイク ●自転車(スポーツバイク・電動アシスト車など) ●船舶(モーターボート・ジェットスキーなど)もOK!

【金利適用期間】2015年9月30日ご融資実行分までとなります。※金利情勢の変化により、金利は変更となる場合がございます。※実際のご融資金利は、お申込時点の金利ではなく、お借入れ時点の金利が適用となります。※カーライフローンには固定金利型もございます。※上記商品は、金利引下げ制度「はるかぜ引下げ」の適用が受けられます。(身体障害者手帳を保有している方が対象となります。)※団体会員の構成員以外の方は、ご利用にあたって中央ろうきん友の会に入会すること、または当金庫の個人会員(最低出資金1,000円が必要)となることが必要な場合があります。※店頭やホームページで、ご返済額の試算ができます。※審査の結果、ローン利用のご希望にそえない場合があります。※ご返済が滞った場合は金利引下げが受けられない場合がございます。※所属会員により、ご融資条件等が異なる場合があります。※店頭に説明書をご用意しております。

商品の詳細は〈中央ろうきん〉千葉県本部へ TEL:043-251-5162 2015年6月1日現在

ろうきん

ZENROSAI NEWS

この安心を、家族の成長とともに。

医療タイプ 医療安心タイプ 終身医療5000 総合タイプ 総合2倍タイプ
大型タイプ がん保障プラス 生きる安心タイプ 傷害安心タイプ シニア総合タイプ
シニア医療タイプ シニア傷害安心タイプ キッズタイプ キッズワイドタイプ キッズ満期金付プラン

こくみん共済

個人定期生命共済・こども定期生命共済・熟年定期生命共済・傷害共済・個人賠償責任共済・終身生命共済・個人長期生命共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら 全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

UP! 2015 生活底上げ・福祉強化

協同事業の利用を広げよう!

労働組合と協同組合ろうきん・全労済は、仲間同士のたすけあい・連帯などの価値観を共有しています。

労働運動みずからが生んだ自主福祉事業。
参加し、利用し、ともに運動をつくろう!

作品募集

第60回 千葉県勤労者美術展

千葉・県民芸術祭
～文化でつなぐ千葉のちから～

会　期	平成27年9月1日㈫～9月6日㈰
会　場	千葉県立美術館
部　門	絵画・書・写真
申込締切	平成27年8月10日㈪　※郵送可、当日消印有効 なお、搬入日当日の受付は出来ませんので必ず事前に申込をして下さい。
主　催	千葉県・(一社) 千葉県労働者福祉協議会
後　援	千葉市・株式会社千葉日報社・千葉テレビ放送株式会社
協　賛	中央労働金庫千葉県本部 全労済千葉県本部 千葉県生活協同組合連合会

※詳しくは下記までお問合せ下さい。

展示風景

申込・問合せ

(一社)千葉県労働者福祉協議会
電話　043-241-6681
ホームページ http://www.rfk-chiba.net

くらし何でも相談ダイヤル

相談無料

どうしよう？

くらし相談　子育て

法律相談　労働相談　多重債務

各分野のプロがあなたのご相談にお答えします。

ちばライフサポートセンター

いつでも　そうだん　よい　よい

0120-53-4141

受付時間　平日 午前10:00～午後5:00　http://www.chiba-lsc.jp

実施団体：一般社団法人 千葉県労働者福祉協議会（略・労福協）

2015年7月発行　発行／(一社)千葉県労働者福祉協議会　http://www.rfk-chiba.net
千葉市中央区中央港1-24-14　SEASCAPE千葉みなと３階　TEL.043-241-6681　編集・印刷／㈱メロウリンク企画